

## 京阪グループが新たに提案するライフスタイル

### バイオスタイル 「BIO-Style」と京都・四条河原町での展開について

- 「健康的でクオリティの高い生活」や「自然環境との共生」「環境保全」などをテーマとしたライフスタイル「BIO-Style」を京阪グループの新たな事業軸に。
- ホテル、リラクゼーションサービス、オーガニックショップ・カフェなどから構成されるフラッグシップ施設を京都・四条河原町に展開、「BIO-Style」の発信スペースに。

京阪電気鉄道株式会社（本社：大阪府中央区、社長：加藤好文）では、平成29年度中の開業を目指して、ライフスタイル発信型の複合施設の開発計画「BIO-Style 京都・四条河原町プロジェクト」に着手いたします。

近年、日本においても環境意識の高まりや、食の安全・安心に対するリスクの顕在化などを背景として、環境配慮型の製品や、有機農産物などへの関心が高まっており、今後、「環境」や「健康」に配慮したライフスタイルは社会の成熟とともに浸透していくものと考えられます。このような社会環境のもと、有機農産物の販売などを通じて生産者と消費者をつないできた株式会社バイオ・マーケット（平成26年10月1日（水）に当社子会社化）の実績と、京阪グループの事業領域を融合させることで、「健康的でクオリティの高い生活」や「多様性ある自然環境との共生」「環境保全」などを幅広い生活シーンに採り入れたオーガニック・ライフスタイルをプロデュースする「BIO-Style」を創造し、京阪グループの新たな事業展開の軸としてまいります。

また、四条河原町に建設する新施設は、「BIO-Style」のフラッグシップとして、ホテル、やリラクゼーションサービス、オーガニックショップ・カフェ、ライフスタイル発信スペースなどを展開することにより、新たなライフスタイルを京都から世界へ発信します。

今後は、四条河原町の施設を基点として、「BIO-Style」をコンセプトとした様々な事業を積極的に展開し、グループ事業の価値向上を図ってまいります。また、農業分野とのネットワーク拡大により、環境保全や地域活性化にも貢献し、沿線の価値向上にもつなげていきたいと考えております。

施設の詳細は別紙のとおりです。



完成イメージ（建物外観）

## 1. 施設の概要

### (1) コンセプト

#### 『京の「BIO-Style」～五感で四季を感じる、心と体の和みの空間～』

自然との調和によって育まれた日本文化を象徴し、季節を生活に取り入れるライフスタイルが今なお息づく「京都」から、京都の生活文化と「BIO-Style」を融合した、新しいライフスタイルを世界へ発信します。



### (2) フロア概要

地下1階～3階 店舗（オーガニックショップ・カフェ、レストラン、スパ、エステなど）  
4階～9階 ホテル



完成イメージ（店舗部分）

### (3) 施設の構成

#### ○ホテル

「京のおもてなし」の心を大切に、オーガニック素材のアメニティーの提供や、オーガニック素材を活かしたレストランを併設した「BIO-Style」ホテル。

- ・和のテイストを活かした客室
- ・香道、華道など、日本の感性を活かしたあしらい
- ・オーガニックコスメや、オーガニックコットンを使用したアメニティーや寝具



### ○リラクゼーションサービス

「京の美」をテーマに、オーガニックコスメを取り入れた、上質で品のよいリラクゼーションサービス（エステ、スパなど）。

- ・オーガニック・エステ、スパ
- ・ヨガ、禅スタジオ
- ・漢方やお香など、東洋的セルフメディケーション



### ○オーガニックショップ・カフェ

「京の市」の賑わいをテーマにした日本最大級のオーガニックショップやオーガニックカフェ。

- ・オーガニックフード（各種生鮮品、グロサリー、ワインなど）
- ・オーガニックコスメ
- ・オーガニック雑貨（インテリア、綿製品、幼児グッズ（絵本、玩具）など）
- ・オーガニックカフェ



## ○ライフスタイル発信スペース

屋上デッキを使ったビオトープや体験農場を活用した食・美容・健康をテーマとしたワークショップや京都の文化を体験する企画などを通じ、「自然とともに生きるライフスタイル」や「環境保全」「循環型社会」などの「B I O - S t y l e」の発信を行います。



## 2. 建物の概要

建築主：京阪電気鉄道㈱

建設地：京都市下京区河原町通四条下る稲荷町

敷地面積：約3,800㎡

延床面積：約24,500㎡（地上9階、地下1階）



計画地周辺図

以上